



①

プロバスケットボールBリーグ2部(B2)開幕戦

青森ワッツが激闘を制し開幕2連勝を飾る

10月7日、伊藤鉦業アリーナつがるで行われた青森ワッツ対岩手ビッグブルズのホーム開幕戦。倉光市長がプレゼンターを務め、審判にボールを渡して幕を開けた試合は、手に汗握る展開に。同点で前半を折り返し、第3クォーター(Q)では青森ワッツが相手を引き放すも、第4Qの終わりに追いつかれ、同点となって延長戦に突入。延長戦では、相手のファウルで得たフリースローを確実に決め、青森ワッツが84対79で第1戦を勝利。翌日行われた第2戦も青森ワッツが勝利し、チーム初のホーム開幕2連勝を飾りました。

11月18日(土)・19日(日)も同アリーナで滋賀レイクス戦が予定されていますので、ぜひ皆さんで応援に出かけましょう。



②



③



④



⑤

①気迫のドリブルで攻める池田祐一選手 ②ボールのプレゼンターを務める倉光市長 ③ディフェンスでプレッシャーをかける會田圭佑主将 ④相手にファウルされながらもシュートを決めるパトリック・アウダ選手 ⑤フリースローを見守る観客

10月14日、15日、つがる市スポーツタウン活性化協議会(倉光弘昭会長)が、伊藤鉦業アリーナつがるを活用してスポーツに親しんでもらおうと「つがるスポーツフェスティバル」を初めて開催しました。フェスティバルでは、第1回つがる市長杯ミニバスケットボール大会を皮切りに、まちなか健康ウォークや3×3バスケットボール大会、軽スポーツ体験、さらには元女子プロ野球選手の加藤優さんをはじめトップアスリートたちとさまざまな運動にチャレンジする「SOMPOボールゲームフェスタ」など多彩な催しが行われ、参加者たちはスポーツの秋を満喫していました。



①

つがるスポーツフェスティバル初開催



②



③



④



⑤



⑥

①子どもと一緒に楽しみながら遊び運動 ②日頃の練習の成果を競ったミニバスケットボール大会 ③秋の空気を感じながらウォーキング体験 ④3×3バスケットボール大会社会人の部で優勝した「がるつ」チーム ⑤元女子プロ野球選手の加藤さん(右)と一緒に遊びを楽しむ参加者 ⑥サッカー競技体験で夢中になってボールを追いかける子ども達

9/18
イオンモール
つがる柏

ゆるキャラが相撲で本気の勝負



「うまいちくん」対「つるりん」の決勝戦

「第8回青森県全国ゆるキャラすもう大会」が開催され、県内各地から17のマスコットキャラクターなどが出場し、熱戦を繰り広げました。

特別ゲストに熊本県の「くまモン」が招かれ、観客から大きな歓声が沸く中、まわし姿で登場すると、不知火型の土俵入りやダンスを披露して会場を盛り上げました。

相撲大会では、ゆるくない本気の勝負に、観客から声援が送られました。今年、頂点に輝いたのは、つがる市商工会の「うまいちくん」。決勝では、鶴田町の「つるりん」を相手に、土俵際まで追い込まれながらも、体勢を入れ替えて豪快な突き落として逆転勝利を飾りました。

木造菰槌から訪れた花田希乃佳ちゃんは「楽しかった！つがるちゃんが勝ったときはうれしかった」と笑顔で話しました。

秋の交通安全運動を前に交通事故防止を呼び掛け

9月21日から30日まで行われた秋の全国交通安全運動の前日、「つがる市交通安全のつどい」が開かれ、参加者たちは交通事故防止への意識を高めました。

木造北こども園の園児が和太鼓を、かしわこども園の園児がダンスを披露して始まった集いには、つがる市交通安全対策協議会やつがる警察署、つがる市交通安全母の会連合会などの関係者が参加。倉光市長は「つがる市から交通事故をなくす思いで、関係団体と一丸となって取り組んでいきますので、皆さんのご協力をお願いします」とあいさつ。もりた保育園ときづくり保育園の園児は、大きな掛け声で交通安全を誓いました。

もりた保育園の齋藤咲さんは「車にひかれないように、よく見て渡ることに気を付けたい」と話しました。



9/20
イオンモール
つがる柏

交通ルールを守ることを大きな声で誓うもりた保育園の園児たち

実りの秋を迎え車力小児童と米軍人たちが稲刈りを体験



10/12
豊富地区

一緒に稲を刈り交流を深める児童と軍人たち

車力小(佐々木綾子校長)5年生26人が、豊富町会(松橋正義会長)の協力のもと、総合的な学習の一環で稲刈りを体験しました。

稲刈りには、米陸軍車力通信所の軍人4人もボランティアで参加し、児童たちと交流を深めました。

児童と軍人たちは、地域の方たちから鎌の使い方を教えてもらおうと、黄金色に色づいた稲に鎌を入れ、ザクザクと1株ずつ刈り取りました。また、コンバインにも試乗し、昔と現代の稲刈りの違いを体感しました。

稲刈りを終えた児童たちは「最初はうまくできるか不安だったけど、やっていくうちにコツをつかめた」「米の大切さが身にしみたと、軍人たちは「皆さんと交流できて楽しかった」「稲作が重要な文化であることを、身をもって体験させていただいた」などと感想を話しました。